

バス停からの 小さな旅



03 バス停「高倉神社(さとやま線)」から 牛牧の岩山と新谷の池をめぐる

美濃加茂市の北西部、伊深町には、歴史の地や、自然の生命力を感じ取れる場所がたくさんあります。

その1つが牛牧地区に広がる、水墨画に描かれるような岩山の絶景。ダイナミックな岩肌は、今から2億年前、プランクトンの死骸が海底に堆積してできた、チャートという堅い岩石で構成されています。もとは海の底にあったものが、地球のエネルギーによって山となりました。この山頂からは、大雨の後しか見られない幻の滝があるといわれています。

連なる岩山を横に見ながら、三和町方面へ足を運ぶと、北側の山林へ入る道があり、そこを北西に300メートルほど歩くと、静かな森の中に、新谷の池があります。

この池は、明治から昭和にかけて伊深村村長だった井上太十郎により、田に水を引くために作られた「ため池」です。井上村長は、道路の整備や旧伊深村役場の建設、小学校の増築など、村の発展に尽力しました。

初夏は、森の緑が水面に映って神秘的です。紅葉の季節は、心安らぐ美しい場所です。



今回乗車したバス

行き…さとやま線3便
帰り…ほたる線4便

09時24分 美濃太田駅北口

09時43分 高倉神社

10時05分 新谷の池

牛牧地区から岩山の風景を眺めながら健康の森まで歩き、早めのランチ

11時54分

みのかも健康の森園内

12時13分 美濃太田駅北口



▲牛牧地区から岩山の風景を眺める



▲新谷の池